

健康長寿
～活力ある老いを目指して～

第177回
日本体力医学会
関東地方会

日時：2025年4月26日（土）13：00-17：45
場所：東京慈恵会医科大学 高木会館2号館 地下1階 南講堂
大会長：山内 秀樹（東京慈恵会医科大学）

第 177 回日本体力医学会関東地方会
プログラム

12:50 開会の挨拶

13:00-13:50 シンポジウム I
サルコペニアの分子基盤と身体活動による予防

座長：中原 直哉（東京慈恵会医科大学）

● 筋疾患から紐解くサルコペニアの分子機構

本橋 紀夫（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 遺伝子疾患治療研究部）

● サルコペニア予防を狙いとする運動プログラムの開発と実践

沢田 秀司（順天堂大学 スポーツ健康科学部）

14:00-14:50 シンポジウム II
健康維持としての睡眠の役割

座長：遠藤 拓郎（スリープクリニック/スタンフォード大学）

● 睡眠構築のメカニズム：加齢や疾患がもたらす変化と健康への影響

金子 杏美（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 筑波大学グローバル教育院ヒューマニクス学位プログラム）

● 睡眠構築における食事の影響とその仕組み

岡村 響（筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 筑波大学グローバル教育院ヒューマニクス学位プログラム）

15:00-15:50 シンポジウム III
ポリアミンと健康長寿

座長：小黒 明広（東京慈恵会医科大学）

● スペルミン酸化酵素 SMOX 阻害による細胞老化制御の可能性

植村 武史（城西大学 薬学部）

● Alzheimer's 病の抑制研究を通して得られた抗加齢に臨むポリアミン代謝のパラダイムシフト

南澤 鷹優寛（千葉工業大学 大学院先進工学研究科 生命科学専攻 先進工学部教育センター）

16：00-17：00 一般研究発表（発表時間 8 分、質疑応答 2 分）

座長：石渡 貴之（立教大学）

- ① 筋線維タイプによるポリアミン代謝酵素の発現パターンの違い
有田 誠一郎（東京慈恵会医科大学）
- ② 中高齢者における全身持久力と顔の皮膚老化指標との関連
チェン イーウェン（早稲田大学スポーツ科学研究科）
- ③ 住民運営の通いの場参加者の体力とヘルスリテラシーの関係
大熊 克信（さいたま市民医療センター/埼玉県地域リハビリテーション・ケアサポートセンター）
- ④ 運動嫌いの身体活動疫学：総歩行および目的別歩行時間の実態
高橋 美咲（帝京大学愛学院公衆衛生学研究科）
- ⑤ 運動実施者におけるデジタルコンテンツ利用の関連要因：全国調査のデータを用いた横断研究
堀口 康太（苑田第三病院リハビリテーション科）

17：10-17：40 特別講演

座長：竹森 重（東京慈恵会医科大学）

体力医学を考える

栗原 敏（東京慈恵会医科大学 理事長、名誉教授）

17：45 閉会の挨拶

18：00-19：30 情報交換会

発表に関する注意事項

ご発表ではご自身のパソコンの持ち込みが可能です。

事務局でも Windows のパソコンを準備しますが、動画等がある場合に再生できない可能性があります。

そのため、動画等が含まれるスライドを使用される場合には持ち込みを推奨いたします。

なお、接続は HDMI 接続となりますので、必要な変換アダプタ等は登壇者の方でご用意いただければ幸いです。

また、事務局のパソコンを使用される際には USB メモリにデータを入れてお持ちください。

【会場・アクセス】

鉄道			
鉄道名	最寄り駅名	出口案内	徒歩時間
都営三田線	御成門	A5出口	約3分
	内幸町	A3出口	約10分
日比谷線	神谷町	3出口	約7分
	虎ノ門ヒルズ	A1出口	約9分
銀座線	虎ノ門	1出口	約10分
JR	新橋	烏森口	約12分
銀座線 都営浅草線		8出口	
ゆりかもめ		1A出口	
ゆりかもめ	汐留	8出口	約12分
都営浅草線 都営大江戸線	大門	A2出口	約13分
丸の内線 千代田線 日比谷線	霞ヶ関	C3出口	約13分

バス
東京駅... 東京駅から約20分
東98系統 東京駅南口（丸の内南口バス乗り場【1番】）～ （目黒駅経由）～等々力操車所 「慈恵会医大前」または「愛宕山下」下車

会場(高木会館 2号館・地下1階・南講堂)



注意：

●専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用の上お越しく下さい。お車でお越しの場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

●学内の敷地内はすべて禁煙です。ご協力お願いいたします。

問い合わせ先：第177回日本体力医学会関東地方会事務局（担当：田口）

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

E-mail:tairyokukanto177@gmail.com

主催：日本体力医学会関東地方会